

平成30年度 行政評価事業別シート

	実計対象 ■	評価対象 ■	新規 □	完了事業 □	ゼロ予算事業 □	担当者	堀内理恵
	全体計画			経費区分	実施計画事業費	内線	3248
事務事業名	4122 公共交通対策事業						
所 属	120500 市民環境部・市民課						
施 策	06033500 公共交通の確保						
予算科目	会計	01 一般会計					
	科目	020111 総務費・総務管理費・交通防犯費					
	事業	020000 公共交通対策事業					
事業目的				事業概要・効果			
市内の公共交通を確保するため、 ①須坂市地域公共交通会議が運営する「すざか市民バス」・「すざか乗合タクシー」の運行等を支援する。 ②屋代線代替バス運行等事業を支援する。 ③長野電鉄が実施する施設整備事業を支援する。				①須坂市地域公共交通会議がすざか市民バス・すざか乗合タクシーを運営することで市内の公共交通が確保され、地域の活性化が図れる。 ②沿線3市が支援することで、屋代線代替バス運行が維持できる。 ③長野電鉄の沿線自治体が支援することで、電鉄の安全性が向上し、沿線地域の活性化が図れる。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
すざか市民バス、乗合タクシーの運行 屋代線代替バス運行事業補助金 長野電鉄の安全設備整備事業へ補助 107,654人	すざか市民バス、乗合タクシーの運行 屋代線代替バス運行事業補助金 長野電鉄の安全設備整備事業へ補助 114,553人
平成29年度 実績	平成30年度 予定
すざか市民バス、乗合タクシーの運行 屋代線代替バス運行事業補助金 長野電鉄の安全設備整備事業へ補助 108,584人	すざか市民バス、乗合タクシーの運行 屋代線代替バス運行事業補助金 長野電鉄の安全設備整備事業へ補助
平成31年度 予定	平成32年度 予定
すざか市民バス、乗合タクシーの運行 屋代線代替バス運行事業補助金 長野電鉄の安全設備整備事業へ補助	すざか市民バス、乗合タクシーの運行 屋代線代替バス運行事業補助金 長野電鉄の安全設備整備事業へ補助

指標名	すざか市民バス利用者数				
算式	毎月の運賃収入、回数券・定期券の売上から長電バス(株)が算出				単位 人
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標	-	-	-	108,200
	実績	112,862	106,625		
指標選定の理由	利用促進を図り利用者数を増加 ICカード「くるる」の導入による利便性が向上し利用者数を増加				
最終年度目標の根拠					
指標名	すざか乗合タクシー利用者数				
算式	実数				単位 人
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標	-	-	-	1,800
	実績	1,691	1,959		
指標選定の理由	登録者にアンケートを実施 利便性を向上させ利用者数を増加				
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成29年度 決 算	平成30年度 予 算
事業費		57,157	77,152
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		57,157	77,152
人員数(人)	正規職員	0.9	1.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.6	0.2
人員コスト	正規職員	6,434.1	7,149.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	707.4	235.8
	計	7,141.5	7,384.8
市民一人当たりの経費		1.2	1.6
総額		64,298.5	84,536.8

(単位：千円)

平成29年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	207	公共交通会議 委員・アドバイザー謝礼207
11節 需用費	8	事務用品8
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	54,462	須坂市地域公共交通会議への負担金39,648 屋代線代替バス、長野電鉄への補助金7,997
その他	2,480	嘱託・臨時職員賃金・社会保険料2326、旅費・郵便料154

(単位：千円)

平成30年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	246	公共交通会議 委員・アドバイザー謝礼246
11節 需用費	30	会議用お茶30
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	74,320	須坂市地域公共交通会議への負担金45,500 屋代線代替バス9,000、長野電鉄への補助金19,800
その他	2,556	臨時職員賃金・保険料2,394、旅費144、郵便料18

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	高齢化社会などによる市民の足の確保として公共交通を維持していくことは必要である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	ルートや時刻表の大幅な変更は難しいが、少しでも利用しやすくなるように協議会で話し合いを行っている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	利用者が増加するように、アンケート等による意見を反映して利便性を図っている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

将来必要になってくる公共交通の確保、維持には市民の協力が必要であり、公共交通を知ってもらうためにICカードを利用したバスイベント等で周知を図っていく。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>H29/H28比で、市民バス利用者は5.5%の減、乗合バスは15.8%の増となっている。公共交通は今後も必要な移動手段であるため、利便性の向上をはかりながら、利用者を確保していくことが重要。</p>		<p>高齢社会を迎え、今後ますます地域公共交通の重要性、必要性は高まってくる。市民に公共交通をより身近に利用してもらうような取組みが必要。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	